

行政事業レビュー公開プロセス(6月14日)

(事業名)医療提供体制施設整備交付金

評価結果

事業全体の抜本的改善

廃止	0	人
事業全体の抜本的改善	3	人
事業内容の一部改善	3	人
現状通り	0	人

<とりまとめコメント>

- ・ 現在の交付の実態は、国や都道府県の目標に沿った交付というよりは、個別の病院のニーズを反映している側面が見られることから、国として一定基準の目標設定を行うなど、メリハリのある運用を行う必要がある。
- ・ 本事業の実施成果を直接的に反映できるアウトカム指標の設定を検討すべきである。
- ・ 執行実績が低調な項目について、その整備状況や将来に向けた需要を分析し、項目の見直しを検討すべきである。
- ・ 本事業が、医療計画の達成にどう貢献しているかや、事業の効率性等を事後的にでも検証し、本来の政策目的を達成しているかを確認しながら事業を進めるべきである。

<具体的なコメント>

○事業の課題や問題点

- ・ 個別病院等のリクエストによって、補助しているイメージがある。
- ・ 要望のない事業の精査が足りない。
- ・ 実施のない事業があり、何故実績が出ないのか分析すべき。
- ・ 交付金対象事業が各地域の医療計画等の目標達成にどう貢献するのか説明されていない。
- ・ 施設整備を用途とする交付金として、活用しやすい制度になっているか。
- ・ 他の補助金と重複しているのではないか。

- ・ 地方、国が優先したい施策が対象となっているか不明である。
- ・ 資金の交付が個社のニーズに基づくものとなっており、計画的にされていない。
- ・ 交付された資金の効果を測定するための適切なアウトカムが設定されていない。
- ・ 事業開始後に年が経過しているにも関わらず、補助金の効果を明確に示す努力が行われていない。
- ・ 事業の効果を高めるような制度設計（モニタリングや成果の計測）も行われていない。
- ・ 前年度実績を目標値とするのは安易ではないか。
- ・ 都道府県ごとの成果、事業効率性の評価をする必要がある。

○評価を選択した理由・根拠

- ・ 平成18年度から開始した事業であり、大きな見直しを考える必要もあるのではないか。
- ・ 効果を上げるため、交付金の対象事業、要件を再検証すべき。
- ・ 医療計画等各地域の医療体制整備上の効果を明示した方がよい。
- ・ アウトカム・アウトプットが優先度に対応していない。
- ・ 現状のままだと無計画に資金をばらまくこととなり、地域のニーズに応じた適切な施設整備につながらないため、抜本的な見直しが必要である。

○改善の手法や事業見直しの方向性

- ・ PDCAサイクルの推進もよいが、それ以上にKPIなど別の観点からもチェックするべき。
- ・ 資金の流れについて事後調査などするべき。
- ・ 本交付金の対象事業について、医療計画上の目標達成への寄与を申請時に説明した方がよい。
- ・ 実施のない事業は、要因を分析し、充足または他の補助金があるなら廃止、むしろ整備が遅れている事業であれば継続し、整備を促進すべき。併せて交付要件に支障がないかも再確認した方がよい。
- ・ 他の補助金が使えらるものは他を利用し、本事業での要望額に対する充足率を高めた方がよい。
- ・ 施設整備の交付金として、活用しやすい制度になっているか、要件や運用を再確認すべき。

- ・アウトカム・アウトプットを活用し、都道府県の意味尊重は前提としながら、国として一定基準の目標設定を行い、都道府県との連携を図るべき。
- ・これまでの交付状況と改善結果の相関関係を確認し、効率的な事業運営につなげるようにすべき。
- ・個社のニーズではなく、地域の必要性をベースに事業計画を作成すべき。
- ・事業計画の達成度合をアウトカムとすべき。
- ・アウトカム指標の設定は適切に行うべき。
- ・成果目標の設定を意味あるものに変えるべき。それができれば事業の改善につながるはずである。
- ・事業効率性を事後評価する仕組みが必要である。これによってメリハリにつながるのではないか。

○その他

- ・運用改善をすべき。